本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

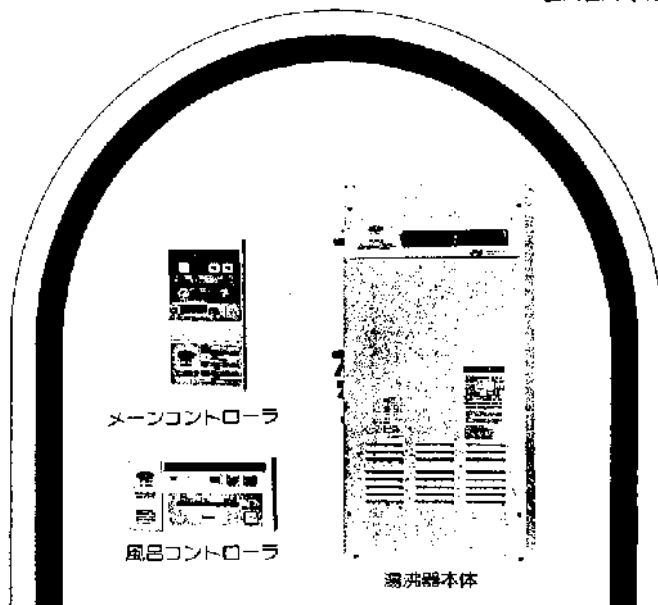
本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市東区平野町5－1	☎大阪06(202)2221
南支社	〒557	大阪市西成区玉出東2－9－41	☎大阪06(652)0001
北支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3－6－25	☎大阪06(301)1251
堺支社	〒590	堺市住吉橋町2－2－19	☎堺0722(38)1131
北摂支社	〒569	高槻市[illegible]39－6	☎高槻0726(7[illegible])0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4－11	☎西宮0798(26)3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2－3－17	☎河内0729(62)1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16－17	☎枚方0720(4[illegible])1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5－13－10	☎神戸078(576)5231
京都支社	〒604	京都市中京区[illegible]588	☎京都075(23[illegible])8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2－4－1	☎奈良0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市[illegible]町1－[illegible]－1	☎和歌山0734(31)2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4－8	☎姫路0792(85)2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町寺家町29－1	☎加古川0794(2[illegible])1801
豊岡支社	〒668	豊岡市[illegible]6－57	☎豊岡07962(3)2221
滋南支社	〒525	草津市[illegible]580－1	☎草津0775(62)5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町12－11	☎彦根0749(22)3131
(長浜営業所)	〒526	長浜市南呉服町3－4	☎長浜0749(62)2171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

ニュージェットフロー16
取扱説明書 31-967型

保証書付

型式名/YV1604RX

ガス器具をご使用になるときのご注意

ガス器具をご使用になったあとは必ずガス元せんも閉める習慣を

ガス器具をご使用中は熱くなります手をふれないでください!

ガス器具はガスの種類にあった正しいものを

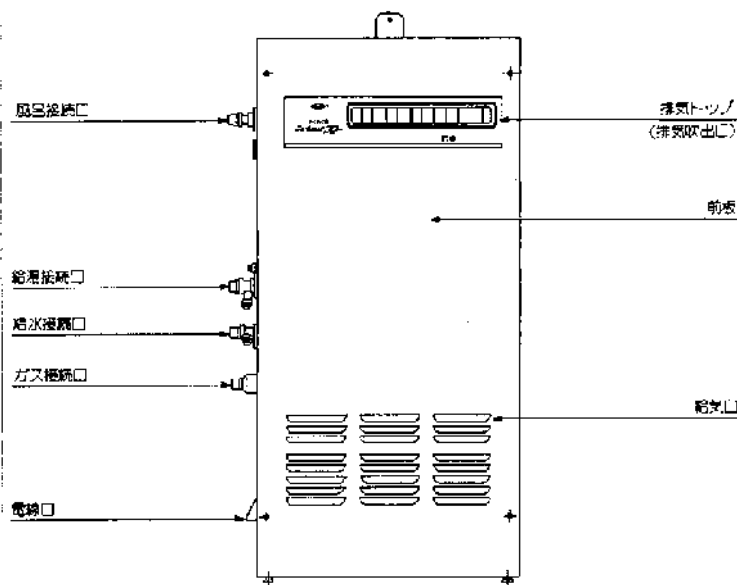
● ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく操作してください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にお問い合せください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスの ニュージェットフロー1号 を
お求めいただきありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保存してください。

も く じ

各部の名称

●器具本体

各部の名称②

● メーンコントローラ

お湯はり予約ランプ（緑ー赤）
自動追いだきランプ（橙）
優先ランプ（橙）
燃焼ランプ（赤）
運転ランプ（緑）
自動追いだきスイッチ
お湯はり予約スイッチ
運転スイッチ
湯温設定ランプ（10段階）
湯温調節スイッチ（アップボタン）
湯温調節スイッチ（ダウンボタン）
「時刻」ランプ（緑）
AMランプ（緑）
PMランプ（緑）
「予約」ランプ（緑）
時計表示パネル
「時」ボタン
「分」ボタン
「予約ボタン」
「時刻」ボタン
フタ

運転　燃焼　優先　自動追いだき　お湯はり予約
自動　予約
37　42　50
低　高
湯温調節
時刻　予約
時刻　予約　時　分
31-960
31-967
メーンコントローラ

各部の名称③

● 風呂コントローラ

運転ランプ（緑）
燃焼ランプ（赤）
割込みランプ（橙）
湯温調節ランプ（10段階）
フタ
お湯はりランプ（橙）
自動追いだきランプ（橙）
手動追いだきランプ（橙）
給湯・シャワーランプ（橙）
自動追いだき温度設定つまみ
お湯はり水量つまみ
お湯はり温度つまみ
運転スイッチ
湯温調節スイッチ（ダウンボタン）
お湯はりスイッチ
湯温調節スイッチ（アップボタン）
給湯・シャワースイッチ
手動追いだきスイッチ
自動追いだきスイッチ

燃焼　運転　お湯はり　自動追いだき　手動追いだき
割込み
37　42　50
低　高
湯温調節
給湯・シャワー

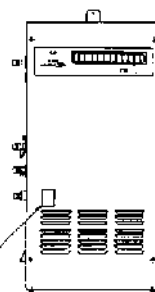
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガス・使用電源についてのご注意

❶器具(銘板)に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。

❷銘板は器具正面左下に貼っています。

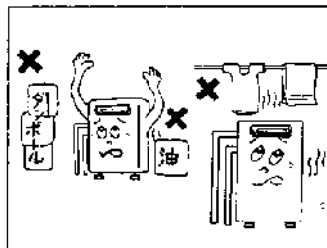
❸ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

使用電源についてのご注意

●電源の電圧と周波数をご確認ください。

この器具はAC100V、60Hz用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかご確認ください。

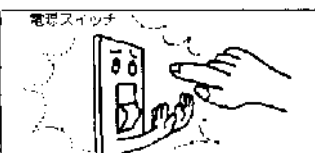
火 災 予 防

❶器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。特に排気トップは洗たくものなどで、おおわないでください。

❷火をつけたまま就寝や外出は絶対にしないでください。

特に注意していただきたいこと②

ガス事故防止

❶ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止して、ガス元せんを閉じ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
（絶対に使用しないでください。）

❷ガスが漏れたときは絶対に火をつけたり、他の電気器具にふれたり(スイッチの「入」「切」や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。

使用上の注意

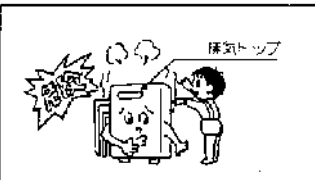
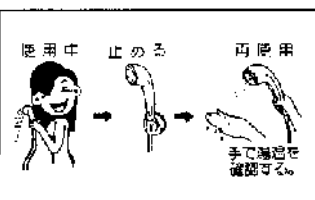
1用途について

●給湯・シャワー・風呂のお湯はり・追いだき以外の用途には使用しないでください。

2市販の補助用具について

●この器具の付属品か指定のもの以外は使用しないでください。

3やけどの注意

❶使用中および消火直後は、排気トップが高温になっていますので、絶対に手をふれないでください。

❷再使用の場合、一瞬熱いお湯がでることがありますのでご注意ください。
特にシャワー使用時は、いきなり身体や頭にかけずに、手で湯温を確認してからお使いください。

特に注意していただきたいこと③

④飲料用、調理用に使用されるときは、給湯配管内に長時間たまった水を放出した後使用してください。

⑤雷時のご注意

- 雷による一時的な過電流で電子部品が破損することがありますので雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントより抜いてください。

⑥健浴剤のご使用について

- 硫黄系の健浴剤は風呂アダプタが腐食する原因となるものがありますので、健浴剤のご注意文をじゅうぶんお読みください。

⑦給湯せんの同時使用について

- 台所と風呂場などで同時に使用されますと、湯量が少なくなることがあります。特にシャワー使用中の同時使用はやめてください。
- 風呂のお湯はり（追いだき）使用中に給湯（シャワー）せんを開くと自動的に給湯に切りかわります。

⑧水圧が下がったとき

- この器具は点火するのに0.15kg/cm²以上の水圧が必要です。ご使用中でも水圧が0.15kg/cm²以下に下がったり、給湯せんを極端に絞りますと、メーンバーナは消火します。

電源について

- この器具には、冬期の凍結による破損防止のために「凍結予防（電気）ヒーター」が内蔵されています。**凍結予防（電気）ヒーターが作動する可能性のある期間中は、緊急の場合以外には、電源プラグを抜かないでください。**

凍結について

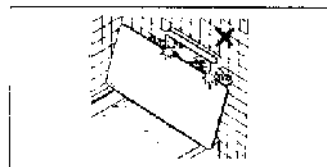
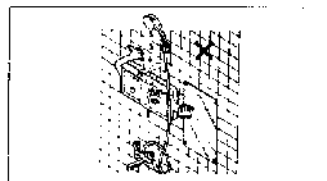
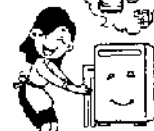
- 冬期には、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも寒波のため器具内の水が凍って器具が破損することがあります。
（凍結予防方法については、21〜22ページの「冬期の凍結による破損予防について」を参照してください。）

異常時の処置

- 万一、異常な燃焼、臭気、異常音などが感じられたときや、（地震、火災など）緊急の場合は、あわてずにガス元せんを閉じて消火してください。

特に注意していただきたいこと④

風呂コントローラについてのご注意

❶浴そうのふたなどを風呂コントローラに当てないでください。

❷風呂コントローラに直接水がかからないように注意してください。

器具の設置

❶器具の設置・工事は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。
（詳しくは「工事説明書」をごらんください。）
❷この器具は屋外専用ですので屋内には絶対に設置しないでください。

使用手順

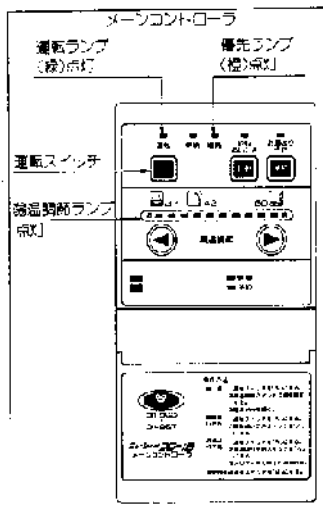
使用前の準備と確認

- 器具の点火操作をする前に次のことを行なってください。

手順 1	手順 2	手順 3	手順 4
・電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。	・給水元せんを全開にしてください。	・給湯せんを開いて水が出ることを確認し給湯せんを閉じてください。 給湯せん 開く 給水せん 湯水混合せん	・ガスの元せんを全開にしてください。

使 用 手 順 ②

点火の準備

● メーンコントローラまたは風呂コントローラの運転スイッチを入れてください。
（運転ランプ(緑)・湯温調節ランプおよびメーンコントローラの優先ランプ(橙)が点灯します。）

給湯・シャワー

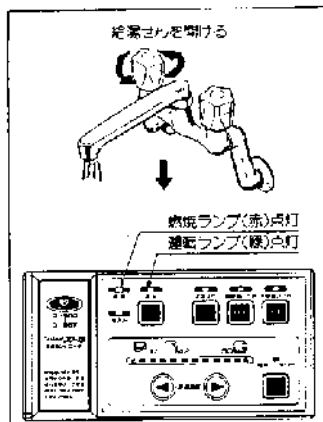
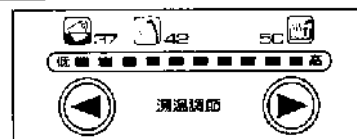
1 お湯の出し方(点火)

❶運転ランプ(緑)が点灯していることを確かめてください。

❷給湯せんを開けますと自動的にバーナに着火しお湯が出ます。
（燃焼ランプ(赤)が点灯します。）

使 用 手 順 ③

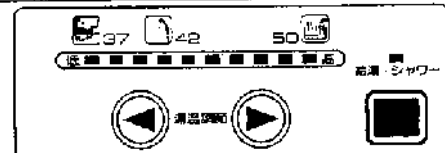
2 湯温調節のしかた

〈メーンコントローラによる場合〉

❶優先ランプ(橙)が点灯していることを確かめてください。
（点灯していないとき、お使いの風呂コントローラの給湯・シャワースイッチを押して切替えてください。）

❷湯温調節スイッチを操作して、10段階の中からお好みの温度にセットしてください。（下図参照）

〈お湯をぬるくしたいとき〉
● ダウンボタン(左)を1回押すごとにひとつずつ低温の設定温度になります。

〈お湯をあつくしたいとき〉
● アップボタン(右)を1回押すごとにひとつずつ高温の設定温度になります。

〈風呂コントローラによる場合〉

❶給湯・シャワーランプ(橙)が点灯していることを確かめてください。
（点灯していないとき、給湯・シャワースイッチを押して切替えてください。）

❷湯温調節スイッチを操作して、10段階の中からお好みの温度にセットしてください。（下図参照）

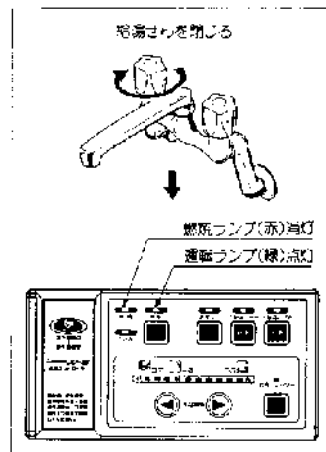
〈お湯をぬるくしたいとき〉
● ダウンボタン(左)を1回押すごとにひとつずつ低温の設定温度になります。

〈お湯をあつくしたいとき〉
● アップボタン(右)を1回押すごとにひとつずつ高温の設定温度になります。

使用手順④

3 お湯の止め方(消火)

● 給湯せんを閉じますと、お湯はとまり、自動的にバーナも消火します。
(燃焼ランプ(赤)が消灯します。)

〈ご注意〉

❶使いはじめは給湯配管の冷水を追い出すまで、しばらく設定温度のお湯が出ません。

❷初回点火時や長時間使用しなかった後はガス配管中に空気が入っていることがあり、バーナに着火しないときがあります。このときには燃焼ランプが点滅してお知らせしますので、一旦給湯せんを閉じて約5秒間待ち再び給湯せんを開いてください。

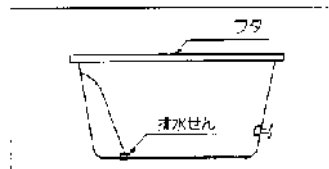
❸給湯せんを極端に絞りますと、バーナが消火し、水に変ることがあります。

❹給湯せんを閉じた後も送風機がしばらくまわっていますが(強回転約1分、弱回転約6分)異常ではありません。

使用手順⑤

(風呂の)お湯はり

● スイッチひとつで、浴そうへ自動的に適温適量のお湯をはることができます。

1 お湯はりの準備

❶浴そうの排水せんをしっかりはめ込んでください。

❷浴そうのフタを閉じてください。

2 お湯はり温度調節と水量調節

❶お湯はり温度調節つまみを回して、お湯はりの温度を調節してください。
お風呂の適温位置は、3～5の範囲を目安に調節してください。

❷お湯はり水量つまみを回して、お湯はりの水量を調節してください。(季節が変っても調節は必要ありません。)
浴そうの大きさにより調節位置が変りますから、3～5の範囲を目安に調節してください。

(お湯はり温度)

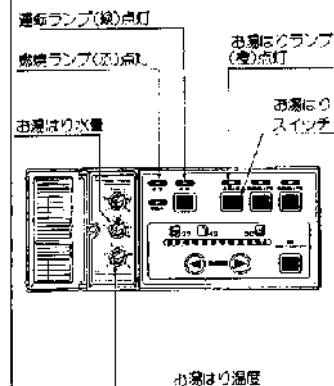
目盛	温度
3	少しぬるい
4	適温
5	少しあつい

(お湯はり水量)

目盛	浴そう
3	1人用
4	1.5人用
5	2人用

3 お湯はり開始(点火)

❶運転ランプ(緑)が点灯していることを確かめてください。

❷お湯はりスイッチを入れてください。
器具は自動運転し、風呂アダプタからお湯が出てきます。
(お湯はりランプ(橙)、燃焼ランプ(赤)が点灯します。)

使用手順⑥

4 お湯はり停止(消火)

❶お湯はり水量調節で、設定された水量になりますと、お湯はりは自動的に停止します。(メーンコントローラよりメロディーで、お湯はりの終了をお知らせします。)

❷お湯はりを途中で止めたいときはお湯はりスイッチを切ってください。
(お湯はりランプ(橙)、燃焼ランプ(赤)が消灯します。)

〈ご注意〉
●お湯はり、追いだき開始時、「ボコッ」という音がして配管中の空気が風呂アダプタより1～2秒出てきますが異常ではありません。

タイマー予約によるお湯はり①

●ご希望の時刻にお湯はりを開始させ、空の浴そうへ自動的に適温(お湯はりの設定温度)・適量(お湯はりの設定水量)のお湯をはることができます。

1 現在時刻合せ

●メーンコントローラの時計表示パネルの現在時刻表示をご確認ください。
時刻が合っていないときは、必ず時刻合せをしてください。

〔※詳しくは、15ページの「現在時刻の合せ方」の項をごらんください。〕

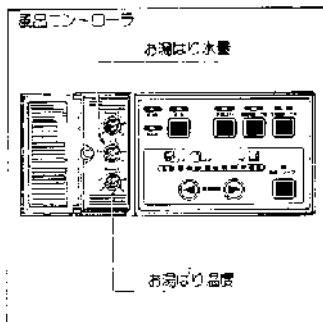
2 予約時刻合せ

❶お湯はりを開始する時刻を合せてください。
〔※詳しくは、16ページの「予約時刻の合せ方」の項をごらんください。〕

❷予約時刻は一度時刻合せをされますと、停電後または、予約時刻を変更されるとき以外は、操作する必要はありません。

3 お湯はり温度調節と水量調節

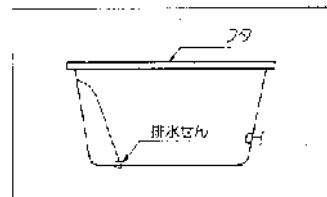
❶お湯はり温度調節つまみを回して、お湯はりの温度を調節してください。
お風呂の適温位置は、3～5の範囲を目安に調節してください。

❷お湯はり水量つまみを回して、お湯はりの水量を調節してください。(季節が変っても調節は必要ありません。)
浴そうの大きさにより調節位置が変りますから、3～5の範囲を目安に調節してください。

使用手順⑦

タイマー予約によるお湯はり②

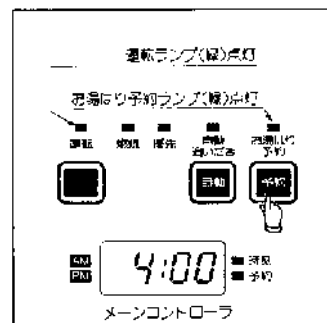
4 予約運転の準備

❶浴そうの排水せんをしっかりとはめ込んでください。

❷浴そうのフタを閉じてください。

5 予約運転の開始

❶運転ランプ(緑)が点灯していることを確かめてください。

❷メーンコントローラのお湯はり予約スイッチを入れてください。
(お湯はり予約ランプ(緑)が点灯します。)

❸予約した時刻になると自動的にお湯はりを開始します。
(お湯はり予約ランプ(緑)が(赤)に変わり、風呂コントローラのお湯はりランプ(橙)が点灯します。)

〈ご注意〉
●お湯はり予約スイッチを入れても予約した時刻になる前に追いだきまたはお湯はりスイッチを押すとお湯はり予約は解除されますのでご注意ください。

6 予約運転の停止

❶お湯はり水量調節で、設定された水量になりますと、お湯はりは自動的に止まり、メーンコントローラよりメロディーで、お湯はりの終了をお知らせします。

❷お湯はりを途中で止めたいときは風呂コントローラのお湯はりスイッチまたはメーンコントローラの運転スイッチを切ってください。
(メーンコントローラのお湯はり予約ランプ(赤)と風呂コントローラのお湯はりランプ(橙)が消灯します。)

使 用 手 順 ⑧

現在時刻の合せ方（メーンコントローラ）

❶電源プラグを差し込むとメーンコントローラの時計表示パネルにAMランプが点灯（00：00）と時刻表示が点滅します。

❷メーンコントローラのフタを開けてください。

❸時刻スイッチを押してください。
時刻ランプが点灯し、点滅していた時刻表示が1：00の点灯に替わります。

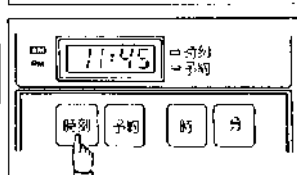
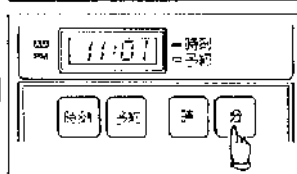
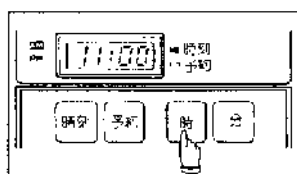
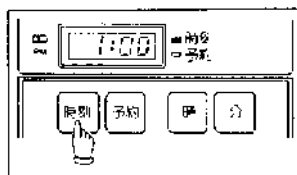
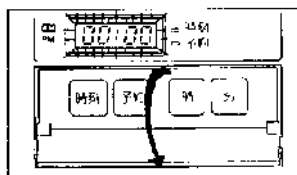
❹「時」合せ
「時」ボタンを押してください。
（※「時」ボタンは1回押すと1時間毎に進み、押しつづけると早送りになります。）

〈ご注意〉
●AM12：00は午前0時、PM12：00は正午を示します。

❺「分」合せ
「分」ボタンを押します。
（※「分」ボタンを1回押すと1分毎に進み、押しつづけると早送りになります。）

❻最後にもう一度「時刻」スイッチを押して時刻ランプの消灯を確認してください。
（※時刻を正確に合せたいときは、電話（117）などの時報と同時に「時刻」スイッチを離してください。）

❼メーンコントローラのフタを閉じてください。

使 用 手 順 ⑨

予約時刻の合せ方（メーンコントローラ）

●予約時刻（お湯はり開始の時刻）合せ。
●お湯はりを開始して沸き上がるまで約12分かかります。（1.5人そうの場合）ご希望の時刻にセットしてください。メーンコントローラのフタを開けてください。

❶「予約」スイッチを押してください。
予約ランプが点灯します。

❷「時」ボタンを押してください。
（※「時」ボタンは1回押すと1時間毎に進み、押しつづけると早送りになります。）

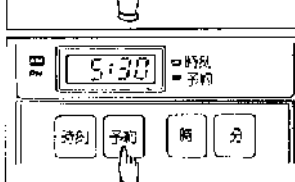
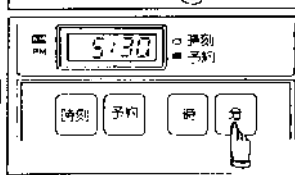
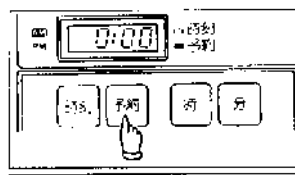
❸「分」合せ
「分」ボタンを押します。
（※「分」ボタンを1回押すと1分毎に進み、押しつづけると早送りになります。）

❹最後にもう一度「予約」スイッチを押して予約ランプの消灯を確認してください。
現在時刻を表示します。
予約時刻合せ終了

❺メーンコントローラのフタを閉じてください。

（予約時刻の確認のしかた
「予約」スイッチを押してください。
予約時刻を表示します。確認してください。再度「予約」スイッチを押して予約ランプの消灯を確認してください。
現在時刻表示にもどります。）

使用手順⑩

足し湯

- 足し湯は残り湯があまりさめていなくて湯の量が少なくなったときに便います。

1 足し湯の開始

❶運転ランプ(緑)が点灯していることを確かめてください。

❷風呂コントローラのお湯はりスイッチを入れてください。

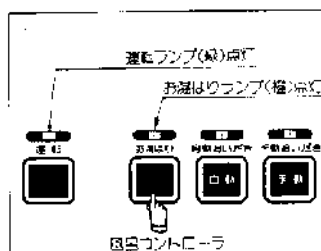
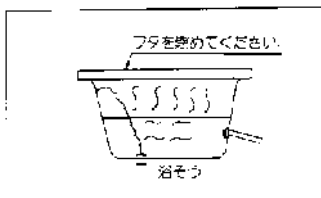
(お湯はりランプ(橙)が点灯します。)

❸自動的に点火して風呂アダプタから設定した温度のお湯が出てきます。

2 足し湯の停止

❶風呂コントローラのお湯はりスイッチを切ってください。

(お湯はりランプ(橙)が消灯します。)

❷自動的に消火して足し湯は停止します。

手動追いだき

- 手動追いだきは浴そうの湯の量は十分であり、少しだけぬるくなったときに便います。

1 手動追いだきの運転

❶運転ランプ(緑)が点灯していることを確かめてください。

❷風呂コントローラの手動追いだきスイッチを入れてください。

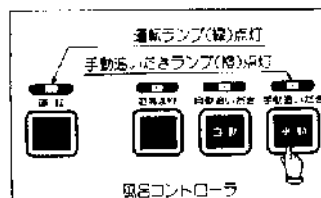
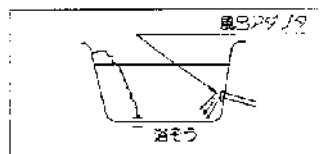
(手動追いだきランプが点灯します。)

❸風呂アダプタからの高温水が出て追いだきを行います。

2 手動追いだきの停止

❶お好みの温度になりましたら手動追いだきスイッチを切ってください。

(手動追いだきランプ(橙)が消灯します。)

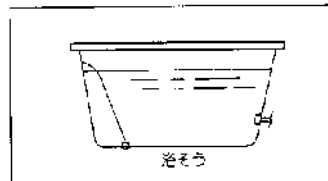
❷風呂アダプタからの高温水が止まります。

使用手順⑪

自動追いだき

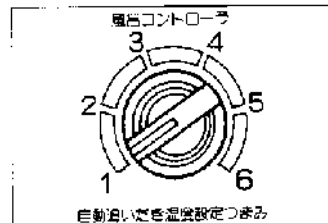
- 4時間の間、自動的に設定されたお好みの温度に湯温を保っておくことができます。

1 自動追いだきの準備

❶浴そう内の水(湯)の水位を確かめてください。

❷湯が少ないときにはあらかじめお湯はりをしてください。

2 自動追いだき温度の設定

❶お風呂の適温設定は、風呂コントローラのフタを開いて、自動追いだき温度設定つまみにより、およそ3～5の範囲を目安に調節してください。

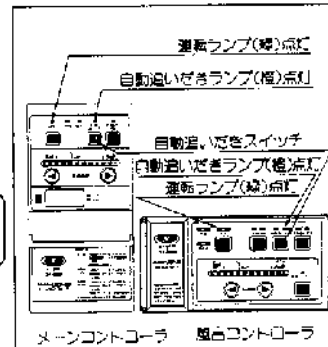
❷一度お好みの温度に設定しておくと後はさわらなくてもけっこうです。

3 自動追いだきの開始

❶運転ランプ(緑)が点灯していることを確かめてください。

❷メーンコントローラまたは風呂コントローラの自動追いだきスイッチを入れてください。

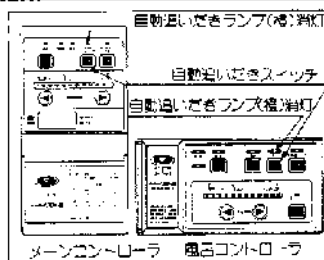
(メーンコントローラ、風呂コントローラの自動追いだきランプ(橙)が点灯します。)

❸自動的に点火して、風呂アダプタから高温水が出て追いだきを行います。

❹自動追いだきスイッチを押してから、4時間の間浴そう内の湯温を自動的に設定温度に保ちます。

自動追いだき

④自動追いだきの停止

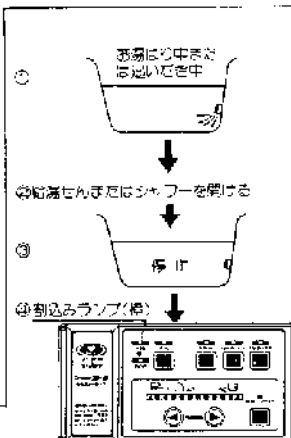
❶4時間経過すると自動的に停止します。

❷自動追いだきを途中で停止したいときは、メーンコントローラまたは風呂コントローラの自動追いだきスイッチを切ってください。
（自動追いだきランプ(橙)が消灯します）

お湯はり、追いだき中に給湯を使用するとき

❶お湯はり、追いだき中に給湯せんを開けると、自動的に給湯に切り替ってお湯が出てきます。

❷給湯に切り替わっている間は、お湯はり・追いだきは停止します。
（風呂コントローラ割込みランプ(橙)が点灯します）

❸給湯せんを閉じると元の使用状態（お湯はりまたは追いだき）に自動的に復帰し、設定水量(お湯はり)で自動停止します。

●最初に設定したお湯はりの運転時間は変化しません。

① お湯はり中または追いだき中

② 給湯せんまたはシャワーを開ける

③ 停止

（ご注意）

❶お湯はり、追いだき開始時、「ボコッ」という音がして配管中の空気が風呂アダプタより1～2秒出てきますが、異常ではありません。

❷給湯せんを閉じた後も送風機がしばらくまわっていますが（強回転約1分、弱回転約6分）、異常ではありません。

停電時の処置

①お湯はり・追いだき使用中の停電の場合

❶風呂アダプタから水が流れ放しになりますから器具下の給水元せんを閉じてください。

❷通電した時は、給水元せんを開き、8～19ページの「使用手順」にしたがって操作してください。

（ご注意）

●再使用したときは、お湯はりの水量調節は初めの状態に戻っています。お湯はり水量つまみをそのままの位置で使用されると、お湯があふれたり沸かしすぎになりますので、つまみを調節してください。

②給湯使用中の停電の場合

❶給湯せんを閉じてください。

❷再通電したときは、8～19ページの「使用手順」にしたがって操作してください。

断水時の処置

❶断水のときは使用しているすべてのスイッチを切り、給湯使用中のときは給湯せんを閉じてください。

❷通水後は、8～19ページの「使用手順」にしたがって操作してください。

（ご注意）

●お湯はりまたは追いだき使用中に断水したときは、お湯はり水量調節も停止し、初めの状態に戻ります。
お湯はり水量つまみをそのままの位置で使用されるとお湯があふれたり沸かしすぎになりますので、つまみを調節してください。

長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は必ずガス元せん、給水元せんを閉じ、電源プラグを抜いて器具の水抜きを行ってください。

冬期の凍結による破損予防について

❶凍結すると器具や配管が破損し高額の修理費がかかる場合があります。
凍結による修理は有料となっております。

❷凍結したまま使用されますと器具に異常が生じる場合があります。凍結がとけた後、各部分の作動を確認の上、ご使用ください。

凍結予防方法について

1 凍結予防(電気)ヒーターによる方法

- この器具には、気温が下ってくると自動的に器具内を保温する凍結予防ヒーターを組込んでいます。

〈ご注意〉
- **凍結予防ヒーターは電源プラグを抜くと作動しません。他の凍結予防処置を行うとき、または緊急の時以外は電源プラグを抜かないでください。**

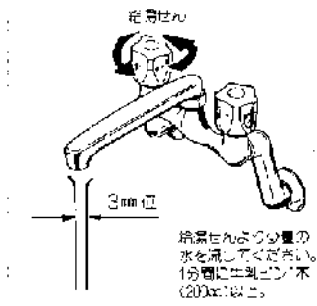
- 凍結予防ヒーターは凍結を予防するものですが外気温が極端に低くなる恐れのある場合はこの凍結予防ヒーターだけでは効果ありませんので、次の2、3の方法をおとりください。また浴そうの湯は最後の人の入浴後、必ず完全に排水してください。

2 給湯せんから水を流す方法〈一般的な凍結予防方法〉

- 器具本体だけでなく給水・給湯配管の凍結も予防できます。

❶ガス元せんを閉じ、メーンコントローラの運転スイッチを切ってください。

❷給湯せんより少量の水（1分間に牛乳びん1本以上（200cc以上）特に寒い日は多めに）を流してください。

〈ご注意〉
- 流量が不安定なことがありますので、約30分後にもう一度流量を確認してください。
浴そう内へは水を流さないでください。

冬期の凍結による破損予防について ②

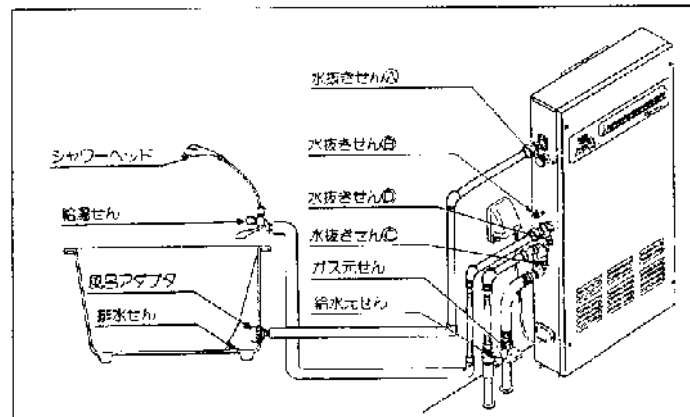
3 器具の水を抜く方法〈入居前や長期不在の場合〉

- この方法は、給水配管の凍結予防はできませんが、凍結による器具破損を予防するのに最もよい方法です。次の操作手順で器具の水を抜いてください。（水受け容器を必ず用意してください。）

❶電源プラグをコンセントから抜いてください。
❷ガス元せんを閉じてください。
❸給水元せんを閉じてください。
❹すべての給湯せんを開いてください。
❺水抜きせんⒶ、水抜きせんⒷ、水抜きせんⒸ、水抜きせんⒹを左に回して外してください。

- 次にお使いになるまでそのままにしておいてください。
- 再度ご使用のときの手順

❶水抜きせんⒶ、水抜きせんⒷ、水抜きせんⒸ、水抜きせんⒹをしっかりと取り付けてください。
❷給水元せんを開き、給湯せんから水が出るのを確認してください。
❸必ずすべての給湯せんを閉じてから、8～9ページの「使用手順」にしたがってお使いください。

※風呂配管の凍結による破損予防について
外気温度が極端に低くなるおそれのある場合は、浴そうのお湯を最後の人の入浴後に抜いてください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

❶点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、(電源プラグを抜き)器具が冷えてから行ってください。

❷器具は絶対に分解しないでください。

点　検

❶器具の上や周辺に燃えやすいものを置いていませんか。

❷排気トップや給気口をふさいでいませんか?(排気トップ、給気口は2ページ各部の名称を参照ください。)

❸器具のご使用に支障がなくても、2〜3年に1回ぐらいバーナや各部の作動が"正常"かどうか定期点検をするのが、安全で長期間使用いただくための"ひけつ"です。お買求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

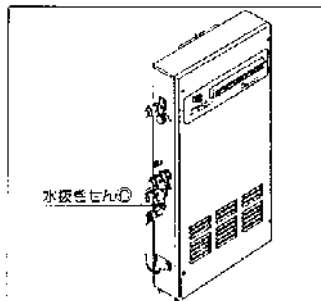
お手入れ

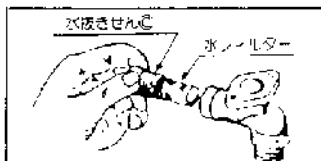
1 前板のそうじ

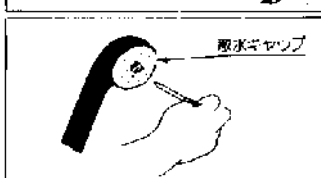
●コントローラ・器具本体の外装のそうじは、やわらかい布に中性洗剤をひたし軽くふいてください。

〈ご注意〉

❶洗剤が残らないようにふきとってください。シンナーや、ベンジンなどでふかないでください。(本体の名・表示ステッカーの字が消えます。)

❷コントローラには、故意にお湯や、洗剤などをかけないでください。

2 水フィルターのそうじ

水フィルターに配管内のゴミ、砂がたまりますとお湯が出にくくなります。その場合は給水元せんを閉め、水抜きせんⓒを左に回して水フィルターを引き出してそうじしてください。

3 シャワーヘッドのお手入れ

シャワーをお使いになるとき、お湯が出にくくなったり、メーンバーナの炎が消えたりするときは、シャワーヘッドにごみがつまっていることがあります。シャワーの散水キャップを取り外してそうじしてください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止してじゅうぶんな点検をお願いします。

原因 ＼ 現象	給湯せんを開いても着火しない。着火しにくい。	使用中に消火したり、消火しやすい。	使用中、湯温が極端に変動する。	お湯を止めても消火しない。	燃焼ランプが点滅する。	お湯を出したまま運転スイッチを「切」にしてもお湯が止まらない。	お湯を出すとき運転スイッチを入れても表示が出ない。	お湯の温度が適温にならない。	使用中、急にお湯ばかりふえて適温にできない。	処置方法	参照ページ
ガス元せんの開きふじゅうぶん。					○			○		電源を切ってからガス元せんを全開にする。	8
ガス配管内に空気が残っている。					○					ガスが正常に出るまでじゅうぶん注意しながら使用する。	11
給水元せんの開きふじゅうぶん。	○	○						○		給湯せんを一たん閉じてから給水せんを全開にする。	8
水圧が適切でない。	○	○	○				○	○		点検、修理を依頼する。(他に原因がないとき)	7
水フィルターのつまり。	○	○	○				○	○		つまり除去又は点検、修理を依頼する。	23
断水している。	○	○								使用を一たん中止する。	20
凍結している。	○									解凍するまで使用を中止する。	21〜22
メーンバーナ炎孔づまり給気口づまり、ノズルづまり。	○				○					点検、修理を依頼する。	—
湯温調節が適切でない。								○		「使用方法」参照。	6〜19
給湯せんの開き不足。	○	○	○					○		給湯せんを全開にする。	8
安全装置が作動。					○					点検、修理を依頼する。	26〜27
水ガバナー、水流スイッチの故障。	○			○	○		○		○	点検、修理を依頼する。	—
電気部品の故障。	○			○	○	○	○	○	○	点検、修理を依頼する。	—
停電している。	○	○				○	○		○	「停電時の処置」参照。	20

処置や原因がわからないときは、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法 ②

安全装置の種類とその働き

❶立消え安全装置

万一使用中にバーナの炎が消えたときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

❷過熱防止装置

使用中器具本体内の温度が異常に高くなったときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

❸空だき安全装置

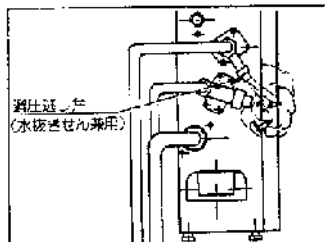
熱交換器が異常な温度上昇をしたときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

❹過昇温安全装置

この安全装置が作動しても故障ではありません。使用の際に、湯量を極端に絞ったり、水圧が低いときに湯温が過度に上昇することがあるため、過昇温防止装置を設けてあります。湯温が約80℃以上になるとこの装置が働いて、自動的に消火します。

❺過圧防止安全装置

器具の使用停止直後に熱交換器の余熱により、熱交換器内の圧力が高くなり過圧逃し弁が作動して水がポタポタ出ることがありますが、器具の故障ではありません。この様な場合には床面をぬらしますので不都合が生じるときには、過圧逃し弁の排水処理が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

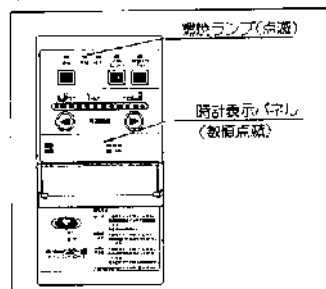
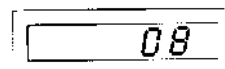
〈ご注意〉
- 空だき安全装置が作動する際には、器具の損傷を防ぐため過圧防止安全装置(過圧逃し弁)が作動し高温の蒸気が噴出しますので、ご注意ください。

❻凍結予防装置

21～22ページの「冬期の凍結による破損予防について」の項をごらんください。

故障・異常の見分け方と処置方法 ③

■異常報知(警報モニター)について

- 風呂コントローラ、メーンコントローラには、器具本体に不具合が生じた時、各種ランプの点滅によって、不具合の原因を知らせる異常報知(警報モニター)機能が付いていますので、メンテナンスのスピード化に役立ちます。

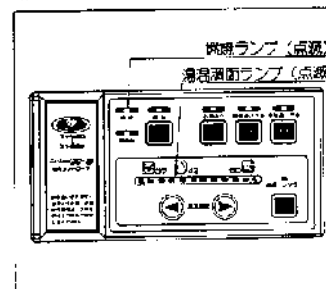
〈メーンコントローラの場合〉

- 不具合が発生すると、左図のように燃焼ランプが点滅しはじめ、時計表示パネルには 01 ～ 12 の数値が表示点滅します。

❶時計表示パネルにどのような数値が表示されているか確認してください。

❷次頁下に警報モニターラベルがありますので表示された数値を一致するNoをさがしてください。

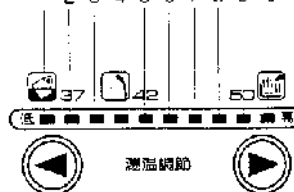
〈例〉

- 左のように時計表示パネルが 08 と表示しているときは、警報モニターラベル中のNo.8「バーナコントローラ異常」が原因であることが判ります。

〈風呂コントローラの場合〉

- 不具合が発生すると、左図のように燃焼ランプと湯温調節ランプのどれかが点滅をはじめます。

❶湯温調節ランプの 点滅位置 をチェックしてください。
(点滅位置 とは10段階に分れた温度の設定位置を指します。)

❷次頁下に警報モニターラベルがありますので(チェックした 点滅位置 と一致する内容をさがしてください。

故障・異常の見分け方と処置方法 ④

- No.5が点滅していたら、「出湯サーミスタ異常」が原因。
- No.8が点滅していたら、「バーナコントローラ異常」が原因。
- No.1とNo.10が点滅していたらNo.11の「追いだき時に水量センサーOFF」が原因と判ります。

警報モニターラベル

- 器具本体電装部品カバーに貼付された配線図ラベルの右に一覧表があります。

警報モニター

警報時は、まずハーネス及びハウジングの接続が正常であるか確認してください。
メンテナンス時は、AC100V電源を切ってください。

No.	時計表示パネル (メーンコントローラ)	湯温調節ランプ点滅位置 (フロコントローラ)	内容
1	01	□ 35	バーナ不着火
2	02	□ 37	バーナ失火
3	03	□	ハイリミットSW又は温度ヒューズ作動
4	04	□	入水サーミスタ異常
5	05	□ 42	出湯サーミスタ異常
6	06	□	送風機回転数異常
7	07	□	給湯側高温検出(90℃以上)
8	08	□	バーナコントローラ異常
9	09	□ 50	切替弁異常
10	10	□ 60	2心通信不良
11	11	□ 35 □ 60	追いだき時に水量センサーOFF
12	12	□ 37 □ 60	風呂アダサーミスタ異常(DX)

仕様一覧表

項目		仕様		
品名		ニュージェットフロー'6		
商品コード		31-967型		
種類	給(出)湯方式	先止め式		
	給排気方式	屋外用		
点火方式		連続スパーク点火・ダイレクト着火		
最低作動水量(ℓ/分)		3.0(作動水圧0.15kg/㎠)		
外形寸法(㎜)		高さ900×幅450×奥行120		
重量(本体)(kg)		25		
接続	給水	15A(R1/2)		
	給湯	15A(R1/2)		
	風呂	15A(R1/2)		
	ガス	6C、6A	20A(R3/4)	13A、LP 15A(R1/2)
電気関係	電源(V)	AC100		
	消費電力(W)	45		
	60Hz	凍結予防ヒーター 120		
安全装置		立消え安全装置(フレームロッド方式) 水量センサー、過熱防止装置、空だき安全装置 過昇温安全装置、過圧防止安全装置、漏電遮断器 凍結予防装置(水抜きせん、凍結予防ヒーター)		
付属品		●風呂コントローラ ●壁貫通パイプ(S) ●配管継手(S) ●メーンコントローラ ●転倒防止金具 ●風呂アダプタ		
別売部品		●低温作動弁セット ●バキューム取付セット ●排気カバー		

使用ガスグループ		1時間当りのガス消費量 kcal/h 最大	出湯能力 ℓ/分(ガス消費量最大時) 上昇温度 25℃	40℃
都市ガス	13A	30,000	(16.0)	10.0
	6A	30,000	(16.0)	10.0
	6C	30,000	(16.0)	10.0
LPガス		2.50kg/h	(16.0)	10.0

備考
- ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
- 上表の出湯能力( )は、湯水混合水栓で混合したとき。

アフターサービス

サービスのお申し込み

❶24～27ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の頁を見てもう一度ご確認ください。

❷確認のうえ、それでも不具合がある場合、あるいはご不明な点がある場合ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

① 品　名……ニュージェットフロー1号

② 大阪ガス商品コード……湯沸器の正面中央に貼付してください。

(例)

(4)31-967(U)
大阪ガス株式会社　08

③ 現　象……できるだけ詳しく

④ 道　順……できるだけ詳しく

転居される場合

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

- この湯沸器には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、湯沸器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

❶無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。

❷補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。
その後の修理に、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますでご了承ください。

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

メ　モ